

# 日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会ニュース

発 行 所：日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会事務局 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学医学部衛生学  
公衆衛生学教室 TEL 0263-37-2622 FAX 0263-37-3499 発行責任者：地方会長 野見山 哲生



このたびの令和 6 年能登半島地震により、  
お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、  
ご遺族の皆様にご心遣い申し上げます。  
また、被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、  
被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

## 巻 頭 言



### 被災地での産業衛生活動を想う

日本産業衛生学会北陸甲信越地方会理事  
高岡市医師会産業保健・健康スポーツ担当理事

上田 芳彦

2024 年 1 月 1 日、いつものように元旦を迎え新たな年が幸せであることを祈った。  
実家に帰ってきた息子夫婦を迎え初孫をあやしていたその時、突然の今までに経験したことのない強い横揺れに  
みまわれた。16 時 10 分能登半島地震の発災、これぞ青天の霹靂。珠洲市で開業している友人に電話をしたが連  
絡が取れず、マスコミからは細切れの情報が入ってくるだけで状況が全く把握できない状態が数日続いた。数日  
後、珠洲の友人と連絡が取れ安堵したが、たまたま元旦で奥さんの実家に帰っていて命は助かったようだ。寸断  
された道路を地元の間でも通ったことのない山道を迂回に迂回を重ねて、本来は 1 時間 30 分程度で行けると  
ころを 8 時間かけて地元に戻った。珠洲の実家は倒壊し彼のお母様は倒壊した建物の中だったが一命を取り留め  
た。クリニックは倒壊を免れたが、停電、断水はもちろんのこと通信障害もあり、道路沿いのほとんど建物が倒  
壊して道路を覆い被し通行ができない状態で、被災した従業員も診療所へは来られない状態であった。友人曰く、  
報道されている状況よりもはるかにひどく地獄絵図だと笑うしかない。本当に大きな声で笑っていた。昨年末  
に高岡地域産業保健センターの事業報告書のあとがきに、「いわゆる 2024 年問題、AI 化・ロボット化による人員  
削減と事業所規模のダウンサイジングによる 50 人未満の事業所の増加、増加した 50 人未満の小規模事業所の職  
場巡視、健康管理、メンタルヘルスケア、病気や高齢労働者の両立支援など高岡地域産業保健センターの事業内  
容の拡大と需要の急増が考えられデジタラフォーメーションが急務だ」と書いたが、ふと通信が遮断され道

路が寸断され隔離された被災地の産業保健活動はどうあるべきかという疑問が頭をよぎった。そして、珠洲の友人は、自立できる DMAT なら被災地に来てほしいが、JMAT は邪魔だと切って捨てた。今後、被災地の復興にはかなりの時間はかかるだろうが、我々産業医として、産業保健に携わるものとして、JMAT のようにならないよう被災地復興に役立てるために、いつから何が必要でどう携わっていくべきか考える時が来たと思う。

今後は、会員皆様と共に被災地における産業衛生活動について考えていきたいと痛感している、最後に、能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げ、亡くなられた方へは謹んで追悼の意を表します。

## 第 66 回北陸甲信越地方会（長野）開催報告

2023 年 9 月 17 日（日）に、第 66 回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会が、長野県医師会長の若林透先生を学会長として、長野市のホテルメトロポリタン長野で開催されました。新型コロナウイルス感染症の第 5 類感染症移行後、初めての地方会学会ということもあり、参加者は 101 名に上り、盛況のうちに終わることができました。ご参加の皆様にご感謝申し上げます。

学会プログラムは、午前一般演題と総会、午後シンポジウムの構成であり、また前日の 16 日（土）には、前日プログラムとして、株式会社みすずコーポレーションにて、実地研修会を実施しました。

一般演題は、地方会を構成する 6 県全てから計 9 題の発表があり、その発表内容は生活習慣病予防、健康増進、産業保健活動支援など多岐にわたり、活発な質疑応答が行われました。シンポジウムは、産業医部会および産業看護部会との共催のもと、「困難事例にどう対応するか—事例とその特徴、法的解釈について—」をテーマに企画されました。講演内容は、事例とその対応について、ミネベアミツミ株式会社の大和田

由希先生、セイコーエプソン株式会社の河西洋子先生、アイシン軽金属株式会社の今度悠樹先生から各々報告があり、その精神医学的解釈と法的解釈について、信州大学の鷲塚伸介先生、神田法律事務所の織英子先生から指定提言を受け、活発な議論が交わされました。本学会開催にあたりご尽力いただきました皆様にご礼申し上げますとともに、ご参加の皆様の今後の産業保健活動に少しでも役立ちますと幸いです。

次回の地方会学会は 2024 年 10 月 20 日（日）に石川県で開催予定です。令和 6 年能登半島地震直後で開催がはやぶまれる状況ですが、開催の折には、多くの会員の皆様にご参加いただき、地方会全体で盛り上げることで、復興の一助となることを切に願います。

（文責 當房 浩一）



## 地方会事業から

### 福井県の地方会事業から

福井県の学会員は現在 32 名（医師 24 名、保健看護師 7 名、その他 1 名）となっています。主な会員による活動としては、医師会の産業医研修の講師・産業保健総合支援センターの産業医研修会（年 16 回）や衛生管理者研修会（年 7 回）の講師を担っております。産業看護部会としては年 2 回の研修会を開催しており、学会員以外の産業看護職を含め多くの方に参加いただいております。残念ながら産業衛生学会の福井県地方会が定期的で開催しているイベントはなく、2024

年度は学会員が集まれるイベントを開催しようと計画しております。当面の問題としては学会員の減少を食い止めつつ、学会員を含めた産業保健分野で活動している方々が交流できるような企画・イベント増やしていきたいと思っております。

（文責 高山 英之）

### 新潟県の地方会事業から

中小企業の多い新潟県では産業保健の課題として、全国水準に比し取組の遅れがあったことを背景に、平成 19 年 6 月に「新潟産業保健研究会」が設立された。産業保健に携わる多職種の研鑽と意見交換の場と

なって、令和 5 年 12 月で 34 回目を迎えた。時代に即した話題を県内外の著名講師を招聘し研修の実を上げてきた。新潟県は平成 9 年の人口 249 万人をピークに減少は止まらない。一方、医師不足は人口の減少にも関わらず更に酷い減少率である。この様な中、卒後臨床研修を本県で行う研修生の多くが期間中に産業医資格を取得したい希望があることが判明し、今後期待が高まる。また、本県は健康立県を知事が表明し、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」を基本理念としている。医療と産業の充実が理念達成に必須条件である。此処に「働いてよし新潟県」を加え、生活の安定と幸福の度合いの向上を産業保健の目標として表明したい。新潟産業保健研究会の発展と更なる充実が求められる。

(文責 興梠 建郎)

## 会員の取り組み



### 石川県で産業保健師としての開業

野口保健師事務所  
産業保健師 野口 有美子

私は 2023 年 5 月に産業保健師で開業しました。2023 年 3 月末まで J R 西日本の産業保健師に 17 年間従事していました。開業するきっかけは、他企業の社員が喫煙所で喫煙している様子をふと目にし、「受動喫煙の知識があるのだろうか。」と気になりました。保健師を雇用している企業規模を調べると、ほぼ大企業です。大企業の割合は全体の 1 割に過ぎず、中小企業で働く人々の健康管理支援が必要ではないかと感じました。それから新型コロナウイルス感染拡大を経て、働き方や健康観の変化とともに、自分自身の生き方や役割について考えるようになりました。そして「日本を支える中小企業の労働者が健康に継続して働けるようサポートしたい、微力でも日本を元気にしたい」という思いが強くなり、開業に至りました。

開業して順風満帆ではありません。産業保健師の専門的なことはもちろんのこと、営業、経理、ホームページの作成など想像以上にやるべきことがあり、世間

知らずということを感じています。さらには、石川県で産業保健師の認知度は、ほぼゼロという現状です。大都市では開業産業保健師もあり、産業保健師募集も頻繁にあります。開業してから名刺交換すると必ず「保健師って？事業内容は？」という質問があります。加えて石川産業保健総合支援センターの登録保健師として無料提供の保健指導をすすめても、必要性を感じない、時間がないなどの理由で、保健指導をすすめたうち実施できる企業は 1 割ほどです。ですが、企業の実情を伺うと、労働衛生管理体制や健診後の事後措置、メンタルヘルス対策等に介入が必要です。そのような中、社員の健康管理の必要性を感じ、契約くださった企業もありました。少しずつですが、同じ開業保健師の仲間や相談できる方も増えてきました。今後ともご縁に感謝し、中小企業の労働者が健康に継続して働くことができることで日本が活気づくことを目標に、試行錯誤と研鑽を続けていきます。

保坂内科消化器科  
医師 保坂 圭



私は嘱託産業医と地域産業保健センターの健康相談員としております。その他、刑務所や警察留置所における健康管理業務に従事しております。山梨県には大規模事業所は比較的少なく中小規模の事業所が多い関係で、多くの嘱託産業医が産業医活動に従事しています。このような背景のなか、産業衛生の非専門医である私から山梨県における活動報告をさせていただきます。

2023 年 10 月 27 日から 29 日の 3 日間にわたり、YCC 山梨県民文化ホールと山梨県立図書館の二つの会場で第 33 回日本産業衛生学会全国協議会が開催されました。私はここでボランティアを経験させていただきました。会場オペレーションのプロのディレクターの指示のもと、参加者への案内や受付の業務、講演前の会場準備などを担当いたしました。参加者からのクレーム対応では責任者と連絡をとることができず、対応に経験不足が露呈しました。新入社員が顧客のクレー



ム対応をするようでもあり、メンタルヘルスの現場において従業員の感情労働を理解するうえで役立つものとなりました。一方、想定外のことに對して私が自主判断で動いたことによりディレクターにご迷惑をおかけすることもありました。このとき瞬時にディレクターがフォローしてくださったことには大変感謝しております。一見トラブルの少ないように見える音響関係者からは、機材への投資を惜しまずに様々な経験や知識を生かしてトラブルを回避したり対応したりする姿勢を学びました。また、専門職の方が各自の業務に無縁な質問を参加者から受けた時でもわからないなりに誠意をもって対応する姿がありました。さまざま

分野の人たちが専門的なノウハウと責任感を持ってトラブルを乗り越えながらイベントを開催することは、企業が様々な部門を束ねて事業を展開する姿と重なりました。

ボランティアをしたことで今回の全国協議会の運営が多くの方に支えられていることを肌で感じ、学会運営が関係者の皆様によって成り立っていることを実感しました。日本産業衛生学会に所属することで得られるアカデミックな内容は、中小事業所における嘱託産業医の活動の方向性に繋がっています。学会運営を支えてくださっている方々に感謝の意を申し上げて紙面を締めくくりたいと思います。

## 第 33 回日本産業衛生学会全国協議会 開催報告とお礼

企画運営委員長 小林 正洋  
実行委員長 丸山 猛士

### 開催報告

令和 5 年（2023 年）10 月 27 日（金）～29 日（日）の 3 日間、第 33 回日本産業衛生学会全国協議会を山梨県甲府市 YCC 県民文化ホール及び山梨県立図書館にて開催いたしました。現地は 3 日間とも晴天に恵まれ、盛会にうちに終了し、さらにオンデマンド配信：令和 5 年（2023 年）11 月 13 日（月）～12 月 11 日（月）後までに合計 1,849 名の多くのご参加をいただき無事に学会の日程を終了できました。今回産業保健の専門家が現在の課題と将来の展望を考える上で重要と考えられる「多様化する社会と産業保健」というテーマとしました。基調講演や特別講演では、日本医師会の松本会長や長崎山梨県知事、大前慶應義塾大学名誉教授などが登壇し、医師の働き方や産業化学物質による業務起因性疾患の疫学などについて講演しました。シンポジウムやフォーラムでは、多様化する社会に對した産業保健の在り方や、感染症対策と事業継続計画、産業保健のリサーチマップ作りなどについて議論が行われました。実地研修では、屋内と屋外の両方で、VR ゴーグルを用いた職場巡視や救急救命講習、健康経営の取り組みなどについて学ぶ機会が提供されました。また一般演題では、114 題のポスターが展示され、対面形式での発表や討論が行われました。

### 謝辞

まずは、本学会全国協議会開催に際し、当大会の約 2 年にわたる長期の準備・当日の運営に携わってくださった野見山地方会長はじめ、北陸甲信越地方会役員、企画運営員、実行委員、地方会会員の皆様のご尽力のたまものと感謝申し上げます。本学会の全国的な学会を山梨県で開催することは今回が初めてであり、皆様のご指導、ご助言、ご協力を多大にいただき、開催報告の通り盛会のうちに無事に終了することができました。懇親会も小規模ながら開催することができ、北陸甲信越地方会各県の常任理事・理事より、各県の代表となる日本酒・ワインなども提供いただき、高評価をいただきました。たくさんの皆様にご参加いただいたこと、大変うれしく思います。

今後の「日本産業衛生学会」「北陸甲信越地方会」の発展とともに、今回ご参加していただいた会員の皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。



## 私たちの職場 『YKK (株) 黒部健康管理センター』 産業看護師 岡元 千明

YKKグループはファスニング事業とAP(建材)事業で構成され、世界に約4万人の従業員を抱えるグローバル企業です。服やカバンについているファスナー、住宅の窓やドア等、日々の生活のそばにある製品を作っています。YKKでは企業精神「善の巡環(他人の利益を囚らずして自らの繁栄はない)」に基づき、社員の幸せと会社の利益を持続的に両立させることを重視し、従業員の健康管理にも積極的に取り組んでいます。

黒部健康管理センターは産業医9名、歯科医師5名、保健師看護師9名、歯科衛生士2名で北陸地区の約8,000人の従業員の健康管理を担当しています。企業内診療所として従業員への一般診療の他、生活習慣病予防やメンタルヘルス抑制に取り組んでいます。生活習慣病予防では、健康診断2次検診での保健指導や、高リスク者へは管理基準を設け慢性疾患保健指導を行っています。健康保険組合とのコラボヘルスでは、重症化予防につながるよう個別アプローチによる支援を行っています。また集団アプローチとしては、健康保険組合と協働し毎年10-11月に実施する健康づくりキャンペーン、50歳と59歳の全従業員に対する健康教室や個別保健指導を行っています。メンタルヘルス疾患の抑制に対しては復職支援やストレスチェック高ストレス者面談、メンタルヘルス研修会を開催しています。

YKKでは2021年度から定年制度が廃止されました。高年齢労働者が増えることで、生活習慣病だけでなく、転倒災害の増加も課題であり、職場体操の推奨や健診事后面談時の体力測定により気づきにつながる支援を行っています。また、2025年度からの事業場内禁煙に向け、チャレンジ禁煙登録者への禁煙サポートへ取り組んでいます。

毎日40名ほどの従業員が診療や健診事後措置、面談等で利用され、その他に各種健康教室や研修会へ対応しています。従業員が利用しやすい健康管理センターを目指し、スタッフは日々笑顔で取り組んでいます。



リレー形式で会員の皆様の紹介をつないでいきます!

西日本旅客鉄道(株)金沢健康増進センター 西澤 依小 先生からのご紹介でスタート♪



業務も自己研鑽も手を抜かない姿勢を尊敬しています。

### 津田 祐子

所属：(株)金沢村田製作所  
職種/役職：医師(産業医)  
趣味：猫いじり、ゲーム、  
美味しいもの探し

ひとこと：  
安全管理も衛生管理も面白さとやりがいを感じています。コロナ禍で丸く成長した自分に生活指導中!

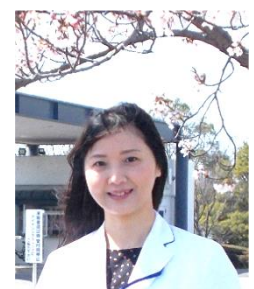


ムラタグループの保健師で唯一この地方会に所属。エールを込めて!

### 清水 一浩

所属：(株)福井村田製作所  
職種/役職：産業医  
趣味：バスケット観戦、鮎釣り

ひとこと：福井にプロバスケットチーム(Blowinds)が発足し、家族と一緒に力いっぱい応援しています。仕事では4月から敷地内全面禁煙となり、卒煙支援に力を入れています。



### 近藤 瑠美

所属：(株)金沢村田製作所  
職種/役職：保健師、衛生管理者  
趣味：キャンプ、果物や野菜を育てること

ひとこと：産業保健師としてはまだ7年目です。現在は禁煙支援・ストレスチェックを担当し、従業員が安心・安全に働ける職場づくりを目指しています。

会員 Relay ☆≡

次号へ

## 新入会員紹介



セイコーエプソン株式会社

保健師 仁科 かおり

この度、日本産業衛生学会ならびに北陸甲信越地方会に入会させていただきました仁科かおり

と申します。よろしくお願ひいたします。病院で看護師として従事したのち、市町村での地域保健を経て、現在、セイコーエプソン株式会社にて勤務をしています。当社では、健康経営の推進に取り組んでおり、その主な活動として中期健康管理施策「健康Action2025」を展開しています。これまでの取組みが評価され、健康経営銘柄に選定されたことは日々の産業保健活動の励みとなっております。私は事業所の健康管理室で保健師の経験を経て、現在は全社にまたがる中期健康管理施策の進捗確認と評価等を担当する部署で勤務をしております。そのため、日々の業務では、健康診断やストレスチェック結果や日々の活動の評価をどのように分析を行っていくか試行錯誤しながら進めております。

今後は学会の活動を通し、さらなる専門性を高め、自身の向上に努めてまいりたいと感じております。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

## 事務局より

### 理事会報告

○2023年度北陸甲信越地方会 理事会

日時：2023年9月16日（土）

会場：ホテルメトロポリタン長野（長野市）

▷役員変更のお知らせ

本部理事：櫻井 勝（金沢医科大学衛生学）

### 今後の行事案内

○2024年度北陸甲信越地方会常任理事会（予定）

日時：2024年6月15日（土）

会場：長野東急 REI ホテル（長野市）

○日本産業衛生学会 役員選挙（予定）

▷地方会代議員および地方会長選挙

実施時期：2024年7～9月頃

実施方法：電子投票

▷理事候補者選挙

実施時期：2024年10～12月頃

実施方法：電子投票

### 日本産業衛生学会の選挙の概要

本学会では、2年に1回、役員選挙を行っています。本年度、日本産業衛生学会の役員改選に伴い、理事、監事、地方会長、代議員が選出されます。

役員選挙の公示は、役員任期終了年度の7月1日までに、中央選挙管理委員会によって行われます。そして、選挙年7月末日までに会費を全納している会員のみが選挙人（選挙権及び被選挙権を有する）となり、選挙人名簿を確定します。

その上で、各地方会選挙管理委員会によって代議員選挙、地方会長選挙を実施し、10月末日までに結果を中央選挙管理委員会に報告します。代議員は11月1日から、2年間の任期となります。

次に、各地方会選挙管理委員会によって、11月1日から任期を務める代議員を選挙人とし、理事候補者選挙を実施し、その結果を選挙年度の12月25日までに報告します。

最後に、中央選挙管理委員会によって監事選挙の公示を行い、選挙を実施します。選挙人は代議員です。

地方会長、理事、監事は、選挙年度の翌年度に開催される総会で承認を受け、当日から2年後の総会までの任期となります。

○2024年度北陸甲信越地方会 理事会（予定）

日時：2024年10月19日（土）

会場：ホテル金沢（金沢市）

○第67回北陸甲信越地方会 学会・総会（予定）

日時：2024年10月20日（日）

会場：石川県立音楽堂 交流ホール（金沢市）

内容：一般演題発表、特別講演（2題）

## 編集後記

この度、北陸甲信越地方会の地方会ニュース第14号を発行することができました。本号では、令和6年能登半島地震被災後の近況、各県の皆様の活動状況、第33回全国協議会報告等をお知らせすることができました。発行に際してご協力、ご尽力いただきました先生方へ改めて感謝申し上げます。

今後も地方会員の皆様の活動や取り組みを広報して参りたいと思います。ご意見やご感想などございましたら編集委員までお寄せ頂けると幸いです。

編集委員（五十音順）

編集委員長：森河 裕子

副編集委員長：塚原 照臣

編集委員：池田 裕子、稲寺 秀邦、遠藤 和男、小坂 智恵子、佐藤 一博、高山 英之、角田 ひろみ、西澤 依小、松永 康弘、丸山 猛士

事務局：當房 浩一、水木 将、長谷川 航平